



學 穂

令和7年度 広州日本人学校
学校だより No.4
令和7年7月24日
発行責任者 校長 大久 耕

～ 2025年 広州日本人学校は 開校30周年です ～

第一学期間のご協力に感謝します



て、褒め、励ましていただければと思います。

明日7月25日(金)より8月18日(月)まで、25日間の夏休みとなります。子供たちのいない学校は少し寂しくなりますが、健康と安全に留意いただき、充実した休みをお過ごしください。夏休み明けに元気な姿に会えることを楽しみにしています。

音楽発表会 盛大に (7月5日)



7月5日(土)に実施いたしました「音楽発表会」には、ご多用な中、多くの保護者の皆様にご来校いただきましてありがとうございました。子供たち一人一人が、目標に向かって努力した成果を十分に見ていただくことができたのではないかと思います。ご回答いただきましたアンケートにも、多くのお褒めの言葉をいただきました。子供たちについてはもちろんのこと、教員にとっても、今後の指導の励みとなります。家庭での練習を見ていただいたり、子供たちを励ましていただいたり、ご家庭からも多くのご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。

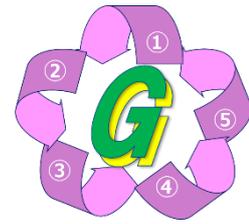
当日参観くださった在広州日本国総領事館・洲上首席領事様からは、次のようなご講評をいただきました。

「聞いていて、たくさん練習したことがよく分かりました。その中で演奏の工夫など、いろいろなメッセージが伝わってきました。いくつか知っている音楽を聞いた時に、過去の場面や出来事を思い出しました。将来、皆さんも、今日とは違う場所で、今日演奏した曲を聞いた時に、必ず広州日本人学校の友達や先生の顔、ここで考えていたことや楽しかったことを思い出すと思います。スローガンにある思い出に残るハーモニーとは、まさにそういうことだと実感できました。」(一部抜粋)

音楽発表会の準備や練習、演奏をとおして、音楽と共に、ここ広州日本人学校での一日一日が、子供たちの記憶の中に刻み込まれていったことと思います。

五つの“愛(合い)”を振り返る【1学期編】

- 子どもと教師とのつながりを大切に。(向き合い)
- 子どもと授業とのつながりを大切に。(学び合い)
- 子ども同士のつながりを大切に。(高め合い)
- 子どもと保護者・日本人社会とのつながりを大切に。(付き合い)
- 子どもと中国とのつながりを大切に。(関わり合い)



※ 繋がりを表す図の中心にある“G”の文字は、「Guangzhou」(広州)、「Good friend」(協力や良い出会い)、「Growing」(成長)の三つの意味が込められています。

新年度のスタートに当たり、“愛(合い)”を探しながら、学校生活を進めていきたいとお伝えしておりました。保護者の皆様から見て、新たな学年となつての一学期間は、どのように感じられましたでしょうか。

本校での教育活動を進める中で、活動内容と共に重視しているのが安全の確保です。例えば、修学旅行等の広州域外でも在広州総領事館や在北京日本大使館をとおして、地元公安に協力をいただいています。広州市内でも比較的パブリックな場所で活動する場合には、学校から警備員を同行させる場合もあります。もちろんこのことは子供たちも知っており、常に感謝の気持ちを持ちながら活動する様子が見られています。

また、今年度は昨年度よりも、子供たちが学校外の人たちと関わり合う活動を増やしています。日本国内とのオンライン交流や広州近郊にある各学校との交流、宿泊的な学習先での交流など、自分たちとは違った生活をする同年代の子供たちと直接的な交流ができるようにしています。当たり前のことが当たり前では無かったり、改めて自分たちの良さを発見したりと、その中でたくさんの気づきを得ていることは、貴重な経験になると思います。今はまだ、「ん？」という不思議な気持ちを抱いている段階ですが、2学期以降学習を進めていく中で、しっかりと「ん？」の正体を見つけていきたいと思っています。

校内では、先日の音楽発表会をはじめ、日常的な係活動や委員会活動など、一人一人の責任を果たしつつ、全体を高めていく活動を盛んに実施しています。学校という場所は、“人”によって成り立っています。互いを思いやり、居心地のいい場所を作っていくことは、子供たちの成長につながります。それは、多くの人々の手で守られている広州日本人学校を大切にすることでもあると思います。友達を、学校を、家族を大切にすることを引き続き育てまわりたいと思います。



～ 学校長日記 ～

広州日本人学校は、3学期制です。中国は、国慶節や春節など、独自の祝日となる期間があるため、各学期の授業日数は決して均一にはなりません。それでも3学期制をとる理由は、児童生徒の異動にあります。第1学期終業式を迎え、今年度は約30人の児童生徒が本校を去っていきます。また、第2学期の始業式には、約20名の児童生徒が編入学する見通しです。

去っていく子は、本校での生活を締めくくり、新たに仲間になる子は、無理なく、それぞれが新しい学校生活を始められるようにとの考えに立っています。

広州日本人学校を翔び立っていくみんなの新しい日々に、幸ありますように。